


|               |   |             |                                 |   |
|---------------|---|-------------|---------------------------------|---|
| ふりがな<br>氏名    | ふくしま ひろき<br><b>福島 宏希</b>  | 都道府県        | <b>東京都</b>                      |  |
| 所属/肩書         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• United Youth 代表</li> <li>• NPO 法人ボランティア活動推進国際協議会日本 副理事長</li> </ul> |             |                                 |   |
| 私のESD活動       | <b>様々な社会問題に取り組む若者が、政治の場など社会へ意見発信する場を作っています</b>  |             |                                 |   |
| ESD活動を表すキーワード | <b>政治教育</b>   | <b>政策提言</b> | <b>持続可能性</b><br>(トリプルボトムラインの統合) |   |

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

#### ■若者の政策提言のための分野横断プラットフォーム

様々な社会問題に取り組む若者が、それぞれの活動の分野を越えて集い、意見交換を行ったり、政策提言を行ったりする場を作ってきました。

##### (1) 洞爺湖 G8 サミットに向けた分野横断プラットフォーム(2007-2008 年)

2008 年の洞爺湖 G8 サミットに向け、環境、国際協力、教育、医療・保健、貧困、など様々な分野に取り組んでいる日本及び世界の若者が集い、G8 に対する政策提言を検討する 3 回のイベントと一つのキャンペーンを主宰。環境副大臣を含む日本政府高官へ提言した。一連のプログラムへの参加人数(運営 50 名、総参加者 500 名以上)、および多様性(分野、国籍等)は、若者主体で行ったプログラムとしては最大級。G8 に対して提言する若者グループとしては当時唯一で、政府へ若者の存在感をアピールすると共に、分野を超えた人のつながりを生み、そのつながりは 7 年経った今でも生きていて様々な活動につながっている。

##### (2) 若者の意見を政治へ直接伝えるための「日本若者協議会 準備会」発足(2014 年-)

若者の意見を直接政治へ届けるため、複数の NPO・学生団体と共に「日本若者協議会 準備会」を昨年発足。スウェーデン等欧州諸国やフィリピンなどで取り入れられている「若者協議会」「若者議会」を参考に、若者と超党派の政治家が直接政策協議をしている。本年 3 月 2 日のイベントを皮切りに、既に 7 月までで 4 回、若者の政治参加を進めるための議論を政治家と行っている。日本ではこのような政治へ直接一般の若者が声を発信する場は定着していない。少子高齢化で「シルバーデモクラシー」が問題とされる中、直接若者が意見を政治に伝える場は極めて重要である。

- United Youth HP <http://www.unitedyouthjapan.net/>
- 日本若者協議会準備会 HP <http://youthconference.jp/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

私が現在最も力を入れている活動である、議員と若者の直接的な対話は、とても教育的効果の高いものだと実感しています。対話を実りあるものにするために、若者側も必死で勉強しますし、議員側も新たな気づきがたくさんあるようです。したがって、今後、これまでの活動をさらに拡充し、頻度を増すと同時に、各地域で開催していきたいと考えています(現在は国会周辺でのみ開催)。

また、選挙権年齢が来年より 18 歳に引き下げられることが決まり、より若い世代が政治に関心を持ち、能動的に行動を起こしていく必要性が高まっています。この機会に、政治教育にも力を入れ、若い世代の政治リテラシー向上の活動を展開していきたいと考えています。